

山梨県学校給食大会 教育長あいさつ

皆さん、こんにちは。教育長の齊木邦彦です。本日、学校給食に関係する皆様のご参加をいただき、令和2年度山梨県学校給食大会が開催できますことに心からお礼を申し上げます。本年度の大会は第37回目となります。長い歴史を重ねて参りました本大会の開会にあたり、ひとことごあいさつ申し上げます。

本日、お集まりの皆様方には、日頃から各学校において、安全・安心な学校給食の実施にご尽力いただいております。深く感謝申し上げます。また、後ほど表彰させていただきますが、学校給食の充実と発展にご貢献のありました皆様方におかれましては、他の模範となる優れた学校給食の実施に取り組んでいただいているところであります。これまでのご努力に対し敬意を表します。

私は高校の教員でしたので、学校給食というと自分自身の小学校・中学校時代の給食を思い出します。風邪などで学校を休むと近所の同級生がその日の給食のうちのコッペパンだけを紙に包んで届けてくれました。相当乾いて堅くなっていますので、母がフライパンで油で揚げて砂糖をまぶしてくれたりするのですが、それがとてもおいしく、学校を休む時の楽しみとなっておりました。

小学校・中学校の学校生活の一番の思い出というと、運動会や修学旅行の思い出が多いようですが、給食に関する思い出というのも根強いものがあると思います。毎日の学校生活の中に自然に何気なく、しかし確固とした存在感を持って存在する学校給食は、私が揚げパンもどきに変身したコッペパンを思い出すように全ての人にその人なりの独自の思い出となって残っていると思います。

学校給食は生涯にわたる大切な思い出としてだけでなく、児童生徒の健やかな育ちを支えるという極めて重要な本来的機能があります。機能というよりかけがえのない生活そのものです。現在新型コロナウイルス感染拡大が予断を許さない状況にあります。皆様方には感染リスクに配慮しつつ児童生徒の適切な栄養摂取や食生活の支援に引き続き努めていただけるようお願いいたします。

結びに、本県学校給食のますますの充実と、児童生徒の心身の健全な発達、合わせて、本日ご参会の皆様方のご健勝をお祈り申し上げ、開会にあたってのあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。